

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	環境設備に関する学会規準(AIJES-B0002-2011)の実用化小委員会	主 査 名：岡 建雄 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築設備運営委員会	委員長名：羽山 広文 主 査 名：赤司 泰義
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・省エネルギー設計に資する資料を収集、整理する。 ・対象建物用途を病院、住宅等として、計算ツールを作成する。 ・太陽熱利用システムの性能とコストに関する資料をまとめ、学会発表した。 ・中小事務所建築の実績値と比較して、計算ツールの妥当性を検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：岡 建雄(宇都宮大学名誉教授) 幹事：後藤謙一(イーイー設計)、森川元樹(森川設計) 委員：相曽一浩(OM 設計)、石川幸雄(三重大学客員教授)、伊藤宏之(テクノビジョンインテリジェントシステムズ)、落合弘文(高砂熱学工業)、佐野邦彦(建築環境・設備ネットオフィス)、時田繁(公共建築協会)、中島康孝(建築環境・設備技術情報センター)、福田全志(カンキョウエンジニアリング)、米山浩一(石本建築事務所)、木村博則(石本建築事務所)、木村建一(早稲田大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2015 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. なし なし 2. なし なし
大会研究集会	1. なし なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 環境評価項目の作成方法を検討中である。 2. 老健施設の計算ツールを作成途中である。 3. 太陽熱利用システムの調査を終了し、ツールに追加する予定である。 4. 実績値の基本データは得られたが、比較できるレベルのデータは未整備。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 議論が割れてしまい、進路が定まらない。 2. 省エネ法が施行されるのを受けて、ツール自体が省エネ法に準拠する必要があると判断し、その対応方法を検討している。

2015年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	C
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	環境設備に関する学会規準（AIJES）の実用化を検討することを目的とした委員会であるが、具体的な評価方法を作成することが難しく、完成に至っていない。そこで建築設備の設備費用と省エネルギー性能に特化したツールを作成しようと試みている。この中でも太陽熱システムに関してはアンケート調査を行い、性能とコストを結び付けた学術成果を学会に発表している。 2012 年下期からシミュレーションとして、省エネ性能と建設費を予測できる Excel シートを開発しており、一定の成果は得られたと考えるが、2015 年度に入り、省エネ法が新しく発表された。省エネ法は義務であると同時に、省エネ水準が相当高い。省エネ法を勘案したツールでないと、設計初期段階でも使用できないと判断し、その評価基準を Excel シートに入れるように検討した。したがって当初の Excel シートを建物用途に合わせて順次拡充するというスケジュールは変更せざるを得なくなっているが、設備設計者により多く使用され、省エネルギーに資することのできるツールを開発できると考えている。 一方、使用されるエネルギー量が多いにもかかわらず、設備に特化した評価方法は世界的な見地から見ても、作成された例がなく、本小委員会の果たせる役割は大きいと判断している。パキスタン政府からも、省エネ手法と建設費を同時に計算する本 Excel シートをパキスタン用に変更して作成していただけないかという要請を受けている次第であり、対応する予定である。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。